

令和7年度 第2回臨床腫瘍セミナー

10万例を超えたがん遺伝子パネル検査

国民皆保険で行われるがんゲノム医療とデータ利活用のこれから

がん遺伝子パネル検査が保険診療で開始されてから6年、検査数が10万例を超え、患者さん、がんゲノム医療病院のスタッフの方々、検査企業の方々のご協力の下、リアルワールドデータがC-CATに集積されています。医療の提供と集積データの利活用の両輪で進められる日本のがんゲノム医療の特長と今後への期待について、話をさせていただきます。

国立がん研究センター

がんゲノム情報管理センター(C-CAT) センター長

講師

河野 隆志 先生

(こうの たかし)

平成元年に京都大学薬学部卒、
平成7年に東京大学大学院医学研究科卒、医学博士。
2010年より、国立がん研究センター研究所ゲノム生物学
研究分野分野長。2012年に発見したRET融合遺伝子に対
する阻害薬の臨床試験に関わり、SCRUM-Japanとともに
2021年セルペルカチニブの保険収載を達成。国立がん研
究センター中央病院とともに、がん遺伝子パネル検査
(NCCオンコパネル検査)を開発。
2023年よりC-CATセンター長として、がんゲノム医療の
推進に取り組んでいる。日本癌学会副理事長(学術・基礎)



日時：令和7年9月12日(金)18時～19時

場所：福島県立医科大学11号館第1臨床講義室

参加無料／事前登録不要 司会：齋藤元伸先生(消化管外科学講座)

- ◆がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ、患者様及び一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。
 - ◆本セミナーは、「東北広域次世代がんプロ養成プラン」事業の一環となっています。
 - ◆本セミナーは、大学院授業要項に基づく「共通必修科目(8)」に該当します。大学院生は履修票をご持参下さい。
- 【お問い合わせ】 福島県立医科大学 教育研修支援課 TEL: 024-547-1095 E-MAIL: ganpro@fmu.ac.jp
【次回予定】 令和7年10月14日(火)18時15分～19時15分 福島県立医科大学11号館第2臨床講義室
(講師) 福島県立医科大学循環器内科学講座 教授 石田隆史先生